

前期実行計画の検証

分類(出所)	番号	分類	項目	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
パブコメ (意見交換会)	1	前期実行計画の検証	—	前期実行計画で目標を達成した取組について、中期実行計画でも継続して取り組む必要があるのか。 設定している目的・目標について、行政側として高度な判断が求められると思います。	前期実行計画で目標を達成した取組であっても、基本構想で掲げている目指すべきまちの姿に必要なものであれば、中期実行計画でも引き続き施策や事業を実施します。 基本構想に対する具体的な取組を示す実行計画では、各施策(項目)の成果・効果を計るために成果指標、目標値等を示しています。 成果指標の設定については、本来施策目的に対する最終的な成果を示すべきですが、最終成果になればなるほど、市の施策以外の外部要因に左右されるようになり、市の取組の効果が見えにくい場合があります。 市の取り組みとあまりにもかけ離れた成果(最終成果)だけでは、具体的な取組の評価が難しくなるため、ある程度因果関係を持つ適度な成果(中間成果)や、事業の直接的な結果(事業指標)を設定する場合があります。 なお、市政運営のPDCAサイクルを確立するための基礎資料として「部・課方針書」を毎年度作成し、計画的な市政運営に努めています。 中期実行計画の取組についても、「部・課方針書」や「事業台帳」に記載し、各事業の進捗や投入資源(人役、事業費)を検証するなど、PDCA手法により各施策を推進します。 (「部・課方針書」は、市ホームページで公開しています。)
意見交換会 (1回目)	2	前期実行計画の検証	—	前期実行計画の各施策にある成果指標の考え方や、目標の設定値が正しいという根拠を伺いたい。	
意見交換会 (1回目)	3	前期実行計画の検証	—	【進捗率の高い取組】 目標値設定が正しいという根拠が不明	
意見交換会 (1回目)	4	前期実行計画の検証	—	前期実行計画で設定している目標値について、数値の正当性が問われると思います。	
意見交換会 (3回目)	5	前期実行計画の検証	—	中期実行計画の目標への取組をマネジメントできるのか。 前期実行計画では達成状況があいまいだと感じる。	
パブコメ (意見交換会)	6	前期実行計画の検証	—	【進捗率の高い取組】 自主的な地域運営の支援 市民意識調査における「自治会など地域コミュニティ活動への支援」の満足度 目標40.0% 実績 36.9% 進捗率92% ※ふれあいセンター館長、職員の資質・能力・姿勢に差があり過る。 退職者の再就職先のようなのですが、課題が多い。勤務日数、時間等団体長としては不満です。勤務時間に制限があり、民間と比較すれば、働きが少ない。土曜日に会議が開催出来ないのが不可解。自治会長など団体長はボランティアで時間に関係なく活動している。市職員は企業民間社員と比較して働かない。午後5時15分以降は給料が出ないから働かない?民間企業で40年間人事、総務関係、工場長、社長等を経験しているが・・・。	ふれあいセンター嘱託職員については、一般公募で採用試験を実施して採用しています。地域団体と連携を取りながら、地域活動の拠点としての意識をしっかりと持って業務にあたることのできるよう、各ふれあいセンター間の情報交換の機会を設けたり、センター職員への研修会を多く実施するなどして、職員の資質向上を目指していきます。なお、ふれあいセンター嘱託職員には時間外勤務手当が支給されていますので、地域の実情に応じて、勤務時間外に実施される地域活動に対応しています。
パブコメ (意見交換会)	7	前期実行計画の検証	—	【環境】 地球温暖化対策 目標値が20事業とあるが、目標数字の根拠ならびに、進捗率が100%になると50%と比べてどんな違いがあるのか、あれば具体的に教えてほしい。	目標値については、グリーンワンコインの実施やグリーン電力証書の発行等により普及啓発効果が見込まれるイベント等の回数を計上しています。民生部門への普及啓発の観点から事業数が多い(進捗率が高い)ほど、温室効果ガスの削減に対する関心が高まるものと考えています。
パブコメ (意見交換会)	8	前期実行計画の検証	—	新エネルギー設備の導入 目標値が10箇所とあるが、目標数字の根拠ならびに目標を達成すると、宇部市において何がどう変わるのか、あれば具体的に教えてほしい。	目標値については、計画期間内に予定される公共施設の建て替え等に合わせて、導入可能と見込まれる施設数を計上しています。公共施設において率先して導入することにより、地域における独立分散型のエネルギー源の確保が図れるものと考えています。

前期実行計画の検証

分類(出所)	番号	分類	項目	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
パブコメ (意見交換会)	9	前期実行計画の検証	—	学校給食の残渣リサイクル率の向上 目標値を100%ではなく、80%とした根拠を教えてください。また、環境とは少し離れるが、残渣が出ないように指導していくことのほうが重要であると思う。	学校給食の残渣リサイクルについては、家畜の飼料として給食残渣の回収を業者委託し推進しています。しかし、北部地域の調理場においては、残渣量が少なく、運搬費がかさむことから、回収対象から外したため、100%の目標値とはしていません。現在、北部地域の調理場の給食残渣については、堆肥化する方向で考えており、中期実行計画においては、目標値を100%としています。また、食べ残しについては、栄養士を中心に学校現場で指導を行っています。ご指摘のとおり、残渣が出ないようにすることが重要ですので、今後とも、食べ残し等の削減にも努めていきます。
パブコメ (意見交換会)	10	前期実行計画の検証	—	自動車利用の抑制対策 エコ定期券2000枚を達成すると具体的に何が変わるのか教えてください。 CO ₂ の排出量減少量など・・・。	エコ定期券の販売により、公共交通機関の利用の増加と自動車の使用抑制に寄与するものと考えます。移動手段を自動車から公共交通機関に変えることにより、CO ₂ 排出量は削減されますが、移動距離に応じるもののため、具体的な削減量の把握は困難なものと考えています。
パブコメ (意見交換会)	11	前期実行計画の検証	—	【安心】 中心市街地の活性化 基準値21.8%、目標12.4%、実績14.3%で進捗率80%の意味が不明なので教えてください。また、基準値21.8%の根拠を教えてください。	中心市街地商店街の空き店舗率については、各年度において中心市街地に存在する商店街組織の空き店舗数を総店舗数で除して算出しております。前期実行計画においては、前述の方法により平成21年度における当該空き店舗率(21.8%)を基準値とし、平成21年度から平成25年度までの5ヵ年で空き店舗率を9.4%減少することを目標としており、平成24年度においては基準値から7.5%減少しているため、目標値の約80%を達成していることとなります。
パブコメ (意見交換会)	12	前期実行計画の検証	—	災害に強い安全な環境づくり 配水管耐震化率10.2%、雨水整備率22.2%の根拠を教えてください。	配水管耐震化率については、配水管の耐震化の進捗状況を表す指標で、地震災害に対する水道システムの安全性、信頼性を示すものの一つです。平成20年度末の宇部市の配水管総延長約995km、耐震化された配水管延長約85kmで配水管耐震化率8.5%を基準として、25年度末までに新たに約16.8kmの布設替を行い耐震化された配水管延長を約101.8kmにすることを目標として10.2%を設定したものです。また、雨水整備率については、宇部市公共下水道事業計画の雨水事業計画の全面積に対する雨水整備面積での指標となります。事業計画の全雨水面積3,925haで、平成20年度末21.7%を基準として年0.1%の整備率向上を目標として22.2%を設定したものです。
パブコメ (意見交換会)	13	前期実行計画の検証	—	安心して子育てできる環境づくり 「子どもが育てやすいまち」と感じる市民の割合を20%とした根拠を教えてください。	第四次宇部市総合計画策定に係る「市民意識調査」の設問中、「宇部市が住みやすいと思われる点—子どもが育てやすい」の15.1%を受けて、安心して子育てできる環境づくりを推進することで前期実行計画期間中(4年間)の目標を20%としたものです。
パブコメ (意見交換会)	14	前期実行計画の検証	—	デマンド交通の運行 目標値を7人とした根拠を教えてください。	デマンド交通の運行を継続していくには、経費に対して一定割合の利用者負担が必要です。デマンド交通の利用者負担の割合は10%以上を目標としています。現在、3つのエリアで約1250万円の運行経費がかかっており、1地区当たりの平均は約400万円、運賃収入は1割の40万円以上必要で、運賃200円で割ると、必要な利用者数は2,000人です。その2,000人を運行日数298日(週6日運行、祝日・年末年始運休)で割った約7人を目標としています。
パブコメ (意見交換会)	15	前期実行計画の検証	—	【市民力】 人権教育の啓発 市民意識調査の数字を持って啓発が充実していると考えるのは問題があると思います。	市民意識調査の数値は、全体的な指標の一つとして捉えています。個別事業については、啓発行事や学習会の内容を検討し参加者を増加させるなど、それぞれ目標値を掲げ取り組んでいきます。また、各行事ごとにアンケート調査を実施し、効果的な人権教育・啓発に努めます。
パブコメ (意見交換会)	16	前期実行計画の検証	—	【地域ブランド】 成果目標、目標値とも根拠のある適正な数字を掲げてあると感じる。 大変わかりやすい。	—

前期実行計画の検証

分類（出所）	番号	分類	項目	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
パブコメ （メール）	17	前期実行 計画の検 証	—	前期実行計画の検証の4ページで、環境面では、「ノーマイカーデーの実施やエコ定期券の販売枚数の実績は、前期実行計画の成果目標に対し進捗が十分ではありません。」とあります。5ページの表をみると、指標は、一斉ノーマイカーデー実施事業所数（社／年）が目標値200社に対して、140社とあります。そもそも、実施事業所だけでは、何人あるいは何%の従業員が参加したかも定かでなく、測定指標として十分とはいえません。	一斉ノーマイカーデーの実施事業所数の把握については、山口県の取組の一環として実施しているところであり、各事業所の参加人数の把握は困難な状況です。
パブコメ （団体）	18	前期実行 計画の検 証	—	目標指標の記述が判りにくい。 基準値とは現状値の年のことか？	成果指標に（基準値〇〇〇）とある場合は、基準年（前期実行計画では平成20年や平成21年）の実績値から数値を下げることを目的として目標値を設定しています。